

第107回:崖っぷちのワンちゃん

紀元前五百年の中国といえば、統一王朝が誕生する前の春秋時代。かの有名な孔子さまが活躍された時代である。孔子が顔回や子貢を引き連れて山東省の周辺を放浪していたころ、揚子江の南では呉越両雄が春秋の覇者を目指して競い合っていた。その舞台となった会稽(かいけい)とは浙江省の紹興市、有名な老酒の産地である。呉越戦争は二世代に亘って続き、一進一退を繰り返すなか「呉越同舟」、「臥薪嘗胆」等の成語を生んだ。戦いは臥薪嘗胆の辛酸を嘗めた越王句踐(こうせん)が呉王夫差(ふさ)を破り漸く終了するが、功臣范蠡(はんらい)は思うことあり、句踐に別れを告げて越国を去ることになった。彼は友人との別れに臨み「蜚鳥尽きて良弓蔵せられ、狡兎死して走狗烹らる」、即ち「鳥を全部射てしまうと、強弓も倉庫の奥に仕舞われ、兎を狩る猟犬も獲物がいなくなれば、お役御免となって煮て食われてしまう。だから殺される前に逃げるのさ」と本音を告げたという。

それから数千年後、今度は巴蜀の地でよく似た狡兎走狗の未遂事件が発生した。ウソップ物語によると「これまで数多くのウサギを捕まえてきた猟犬が目的を達した途端に猟師から邪魔者扱いされ、危うく殺されそうになったので、必死になって外国の屋敷に逃げ込んだ」そう。改革開放前の中国であれば、こんな前代未聞の不祥事は密かに闇に葬り去られたはずであるが、時代が変わってしまった。中国のネット人口は5億人、その半数が「微博(中国版ツイッター)」を利用している。事件が一旦ネットに登場すると、揉み消しは無理だ。書き込みが多すぎ削除は物理的に不可能となるのである。この事件を海外のマスコミヤ、中国のツイッター、ブログは「狡兎死、走狗烹」と形容している。誰がウサギで誰が猟師かは言わずもがなである。外人屋敷に逃げ込んだワン(王)ちゃんは「薄情な猟師は許せない！」とキャンキャン吠えている由。

これが洛陽の紙価を高めた薄熙来と王立軍のドラマである。薄熙来といえば今秋最高指導部入りが有力な重慶市党書記、彼が鉦太鼓を打ち鳴らして進めてきた暴力団追放運動(打黒)の責任者が腹心の王立軍副市長(公安局長兼務)である。その王立軍が成都の米国領事館に駆け込み、米中両国政府が事実関係を認めたことから、「すわ亡命か？」と国内外で蜂の巣をつついた騒動となった。

いずれ真相が明らかになるだろうが、むかし中国の政治スキャンダルには謀略のニセ情報が多かった。ところが近年ではホンモノ情報の確率が高まっている。悪くいえば「中国人の口が軽くなった」、良くいえば「自由にモノが言える社会的雰囲気が高まりつつある」ということだろう。ネット上で情報をリークした犯人を特定しにくいという技術的な問題もある。公安当局も検閲を強化し、有害なプロパガンダはその都度削除しているが、書き込みが多すぎて追いつけないのである。江沢民という名前を発音が同じ「醬則敏」と変形してブログを立ち上げ、参加者も符牒や隠語を使ってネット検閲をすり抜けるといった高等戦術もある。噂話とは真実と虚偽の寄せ集めだが、偽情報の裏に一定の真実も潜んでいるのでその分析は重要である。面倒な作業だが笑える情報も多い。以下①～⑦は中国の各種ソーシャルネットワークを通じて人口に膾炙している玉石混交の情報である。漢土の朝廷にちょっぴり遠慮して薄・王以外の要人名は割愛したが、ネット上では元老や党首脳の実名がバンバン登場する。中国社会の変容を示す実例として披露する次第である。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

- ① 薄熙来の悲願は今秋の共産党大会での「トップ9(政治局常務委員会)」入りである。しかし彼が辿った大連市長、遼寧省省長、商務部長、重慶市党書記という経歴は一流だが、超一流ではない。せいぜい現職の政治局委員(25名)止まりのレベルである。
- ② 且つ薄熙来は過去何度か挫折を経験している。遼寧省での最終ポストは省内二位の省長。権力闘争に巻き込まれ党書記になりそこねた。失意の彼を大物(実名略)が支援し商務部長ポストを得たものの、ケレン味が上層部(実名略)に嫌われ、副首相・國務委員昇格を逃し、重慶に出され髀肉の嘆をかこつ身に。直轄市重慶は今後の登竜門だが、現状では上海や北京、広東、山東等に比べ見劣りが…。
- ③ このままでは昇格望み薄と悟った彼は、起死回生策として彼の上司(賀国强・規検委主任)やライバル(汪洋・広東省党書記)が重慶のトップを勤めたとき、摘発するどころか腐れ縁を作ってしまった暴力団を殲滅し、重慶市民の支持を得ようと決意した。彼は腹心の王立軍を遼寧から呼び寄せ、公安局長に据えて頂上作戦を断行、その結果公安部門のトップを含む数千人を刑務所にぶち込み、巨魁には死刑を含む厳罰を下し、重慶のみならず全国から満場の喝采を浴びた。
- ④ 足の引っ張り合いはお互い様だが、党内では仁義ある戦いが暗黙のルールである。これに対し薄熙来の手口は余りに強引であった。ここにきて反対勢力(実名略)も遂に腹を括り、王立軍を密かに召喚し「もし薄熙来の不正を証言すれば君の不正は見逃してやる」という司法取引で反撃を開始した。政治家は誰でも多かれ少なかれスネに傷を持っており、敵の動きを察知した薄熙来は自分の身を守るため、側近の切り捨てを決意し、2月に王立軍を教育担当の副市長に左遷した。
- ⑤ 薄熙来の薄情な仕打ちに激怒した王立軍は切羽詰まって成都(四川省)の米国領事館に駆け込んだ。彼は何かを求める見返りに、何かを与えたようで(諸説略)、館内滞在は24時間に及んだ。
- ⑥ 米国領事館も彼の突撃訪問に震え上がった。もし彼を政治的に保護すれば、2月の習近平国家副主席のアメリカ公式訪問という両国の重要政治日程が吹っ飛び、オバマの再選と習近平の戴冠に傷がつく。かといって王立軍を領事館から追い出すと、敷地周囲は既に数十台のパトカー(しかも重慶ナンバー)に包囲されており、窮鼠の王立軍が虎口に落ちてしまう。
- ⑦ 結論は米中協議に持ち込まれ、王立軍の身柄を国家安全部が預かることで本人も同意し、米國務省は「同氏は自分の意思で立ち去った」、中国政府は「事件は円満に解決した」とコメントしている。

..このウワサの真実含有量はどの程度か？個人的には高級万年筆並み(14金以上)だと思う。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成24年2月17日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%（税込み）（約定代金が260,869円以下の場合、3,150円（税込み））の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して最大0.8400%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込（一部の投資信託は換金）手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%（税込み）の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%（税込み）（約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円（税込み））の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。